HAVOC PRO
BRUSHLESS MOTOR SYSTEM

この度は、バリスティック・ブラシレスモーターシステムをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
このヨネ技説明書と実況マニュアルをよくお読み頂いた上でお使いください。

ハバック・ハボックプロは、ハボック専用チューニングを施すことにより同じ巻き数での出力の向上と更なる省電率の向上により、最高級ブラシレスモーターの低価格化が実現致しました。ESC(速、0時リーズモータースロットルカーコントロール、リバース(バック)コントロール、正逆転コントロール、リバーブ(ハイ)付2ピンの3段マファンクション)が加わりました。これらのファンクションにより、低速から高速域までよどり滑らかな回転を自在に制御することが可能です。付属のセンサーサブブラシレスモーターは、中低速域での制御及びスムースコントロールが可能です。

バリスティック・ブラシレス モーター スペック

モーター径：35.8 mm
モーター高：52.6 mm
モーター重量：187.0g
モーターシャフト：5.17mm
モーター回転数 Kv値(RPM/volt)：
3.5R：10,500(420R)、6.5R：6,400(390R)、10.5R：4,200(235R)
13.5R：3,300(195R)、17.5R：2,200(130R)

ハボックプロESC スペック

入力電源：4-6セル（Ni-MH or Ni-Cd 1.2 V DC/セル）又は2S（Li-PoAL-iFe）
サイズ：幅 35.16mm (29.5 mm以内) 奥行き 40.2mm (37.8mm)
ESC 重量（本体のみ）：1.36 オンス [38.5 g]
B.E.C. 電圧：6.0 V
カット電圧：6.25V（Li-Po）、4.75V（Li-Fe）
パワーフィルター：14Cジュコンデンサー
モーター接続：0.000040ターム 25個
電流値（前後進）：540A 2分間
適合モーター：ノバック（540サイズ）3.5以上（オーバル使用）
4.5R以上（ドリフトトーリング使用）
6.5R以上（ドリフトトーリング使用）

特徴

- 512.3mmクッションタイヤ・シンデートローター（超強力ネオジム製マグネット）標準装備
- モーターをブラシレスタイプに変更
- モーターセンサーはスムーズな回転と反力に一適したトルクを実現しました。
- 標準のECモーターマウント
- 配線済みコネクターは簡単に装着可能
- 大径ボールベアリング採用で回転効率がアップ
- ハンク使用で回転効率がアップ
- 信頼性の高いネオジム製シンデーローターと固定されたウインディングは発熱抑制に効果大。従来のブラシモーターより回転効率を向上。

センサー制御部の利点

- 駆動時のロータ回転角をセンサーで管理することにより
  ニュートラルからのふんべ立ち上がりを実現しました。
- ローター回転角を管理することは、低速からの急激なアクセレーション時においてパルスパースの急激な変更を防ぐ事ができます。
- ローター回転角管理システムは、加減速時に不安定な制御を無くし加速時の正確なトルクをローターを制御します。
- ローター回転角センサーモーターは、モーターの中にあります。
- モーター（ローター先含む）やファンに異常や発熱が起きた場合には速度を停止しユニットをやります。

スロットルプログラム

※初期状態では、ファクトリーセットになっております。
ハボックプロは、ブレーキ時の最大ブレーキ力(ABS機能)を、以下の5段階から選択することができます。
ドリフトに使用される場合は、適合モーターを6.5R以上、及びハバックプロ・ブラシレスモーターの上手なギヤ比セットアップ方法を参照ください。

表1.

	ファクトリーセット	カスタムセット
最小ブレーキ値	9%	
ドラッグブレーキ	9%	
ニュートラル幅	2%	
最小作動値	1%	
スロットル・カーブ	Exp. 1	
ブレーキ周波数	3KHz	
パック・ロック	Off	
モーター正転	反時計回り	
リポカットオフ機能	Li-Po	

※ファクトリーリプログラムは1種類です。
1種類のファンクションを自由で選択する事に
よりら万通りのセットアップが可能です。

☆電源ON時のＬＥＤ点灯の意味

レッドＬＥＤ、グリーンＬＥＤの2色LEDの状態である事を表現します。
Ni-Cd&Ni-MH モードの場合はこの点灯は点滅となります。

レッドの点灯	スロットルのニュートラル状態である事を意味します。
レッドもしくはグリーンの点灯	スロットルがニュートラル状態から前進側にあることを意味します。
レッドもしくはグリーンの点灯	スロットルがニュートラル状態から後進側にあることを意味します。

ニュートラル時のLED点灯の意味（点滅）

レッドもしくはグリーンの点灯 スロットルがニュートラル状態から前進側にあることを意味します。
レッドもしくはグリーンの点灯 スロットルがニュートラル状態から後進側にあることを意味します。

※ミニマムブレーキとはドラッグブレーキより低設定であることを意味します。
ミニマムブレーキ＜ドラッグブレーキ＜最小ブレーキ

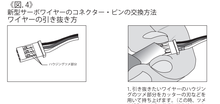
☆使用上の注意

1. モーターやESCは水や水分をさらいます。また、基盤や外部に改造を加えないでください。故障の原因となります。
2. ESCは、ノバック専用ニカド/ニッケル水素バッテリー、および2Sリポバッテリーでのみ使用できます。
3. ブラシレス・モーターでは、ショットキダイオードを使用しないでください。ESCが壊れます。
4. 使用時はFETはかなりパワフルでありますが、ニカド/ニッケル水素バッテリーで使用してください。
5. バッテリーは4セル～6セル（Ni-Cd or Ni-MH）2セル（Li-Po&Li-Fe）で使用してください。
6. ハボックプロは、センサーがブラシ専用モーター用に開発された物です。3.5R以上のノバック専用540ブラシレスモーターの使用可能ですが、用途に合ったモーター（ターン数）を選択しないと、モーターやESCが破損します。
7. 極性を間違えない様に配線してください。逆接をすると5Cが壊れます。
8. バッテリーキャパシター(4.4C)は取り付けてください。（標準品は始めから装備されております。）
9. 使用時には、必ずバッテリー固定用ストラップを入れて、バッテリーが走行中に外れないようにします。
10. ターミナル部等でのショートを防ぐ為、配線は収縮チューブで補強してください。各種端付コネクターを使用する場合も同様です。
11. 本体へ配線接着剤を使用しないでください。
12. 本品はエレクトロニクス製品ですので防水性能は全く持ち合わせていません。使用は4歳以上の方に限ります。
13. 配線、モーター等を含む切る部品を社外品部品を取り付けると故障となることあります。その場合は保障外となります。
その他のアフターサービスの方つのみ以下のようにアドバンスドセットが設定されています。（別途有料）
締めこんでください。また、シンナー等でのケース洗浄によりケース表面を侵すことがあります。

1.ブレシャー・バイヤーの確認と接続

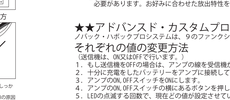
アンプの使用する前に必ずモーターが使用するバッテリーに適合しているかを確認ください。
もしも、異なっている場合は図2と3を参考に正しく極性の順番を入れ替えてください。

（図.2）
新型マーボワイヤーのコネクター・ESCの交換方法
ワイヤーの引き抜き方



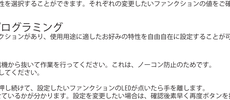
1.引き抜きたいワイヤーのハウジング部分をカッターの刃などを用いて持ち上げます。（この時、ワイヤーを引かないように注意してください。

2.ワイヤーを引き抜きます。



3.上図のようにコネクターをしっかりと差し込みます。
（逆抜けしても抜けます。故障の原因となりますのでよくご確認ください）

（図.3）
ワイヤーの差し込み方



※ラジバッはそのまま使用できますが、サンワスはXのD型受信機には使用が困難と違うものがあります。（プロポ側の調整と共にメーカに確認ください。

STEP.2 ESCの搭載

ESCのパワーワイヤーは、サーボや受信器（アンテナを含む）からなるべく離してください。
1. RCアンテナの保護は、付属の両面テープを用いて正確に装着します。
受信器のアンテナはモーターワイヤー、バッテリー、サーボからなるべく離した位置にマウントし、短く切らずに立ち上がすぐにでた。
2. パワーキャパシターを付属の両面テープを用いて正確に装着します。
ワイヤーなどは、シャーシの各部にストラップ等で固定して下さい。これにより耐振や可動部への干渉を防ぎます。
3. リモートプログラミングスイッチ付属の両面テープを用いて正確に装着します。
オナンプの機能の取り付けをモーターを切り替えるボタンも用意されています。

（図.4）

モーター	ツーリング	2極Lモーター	2極トラック	4極Lモーター	リリ	オーバル
3.5	使用不可	使用不可	使用不可	使用不可	28mm	31mm
6.5	7.5	10	11.5	10	35mm	38mm
10.5	5.5	8	9.5	8	31mm	66mm
13.5	4.5	7	8.5	7	50mm	73.5mm
17.5	3.75	6	7.5	6	65mm	82mm

付属品
・センサー保護用カーリーチューブ
・固定用両面テープ
・ストラップ
・収縮チューブ
・バックステッカー

STEP.3 ESCとブラシレスモーターの接続

ハボックプロは、540サイズの全てのバック製ブラシレスモーターに対応しております。
1. モーターの接続は、極性を無視して3つのコネクターはどのワイヤーに接続しても構いません。
ドリフト、オフロード等の用途の場合、別紙「バック・ブラシレスモーターの上手なギヤ比セットアップ方法」を参照して頂き、適宜ワイヤリングカーブのセッティングの走行時の温度は約70分の50度くらいに設定します。コースに対しての適正ギア比を理論よりも増加させる場合、ESCに装置な負荷がかかりますので注意して下さい。
走行後のアンプの温度が低すぎれば低いほど、送電効率が上がると言えます。ESCの異常発熱を感じた場合には、ヒことかを上に遠少ないのに交換して様子を確認してください。
2. 受信機のスロットルチャンネルにESCを接続します。
パワーワイヤーは、青黄橙の3色となっております。モータはセータ・ナルA、B、C(赤)、それぞれ青A、黄B、橙Cを接続します。逆転させたい場合は、ESCのそれぞれの2本を入れ替えます。確実にコネクタを行ってください。必要以上の加熱は、タグを傷める恐れがあります。作業は手早く行ってください。
3. プラシレスモーターのなるのセンサーワイヤーをアンプに接続します。コード保護用のスパイラル・ラップを巻きコードを保護します。

注意
1. パワーキャパシターは必ず必要です。正しい値のものを、常にESCに取り付けてください。固定する場合、付属の両面テープとストラップでシャーシに固定してください。
2. プラシレス・モーターには、センサーキャブが必要ですが、シュッキーダイオードは不要です。
3. プラシレス・モードでは、モーター用インイスドラーコンデンサーは必要ありません。

STEP.4 ESCとバッテリーの接続

プラシレスモーターは大変高出力な為、ハバックプロモーターをの接続をコネクターは7コネクターやJs Seoul上のコネクターに変更をお勧めします。
入力部分での知識な金線等が溶けてしまう場合がありますので、必ず太い金線を使用してください。
1. コネクターの取り付け
アンプのパワーコードをバッテリーに接続する場合は、極性には注意して行います。（赤コード=プラス、黒コード=ボ）
2. 接続バッテリー
2～3セル Li-Poおよび Li-Fe　または　4～6セル（2.4V/each）Cell Ni-Cd&Ni-MH）を使用が可能です。

STEP.5 送信機のセットアップ

A. HIGH ATVまたはEPA値を最大にセットします。
B. LOW ATV、またはEPA値を最小にセットしてください。
C. ENDPOINT値は60にセットしてください。
D. スロットルのリバース・スイッチはどちらの位置でも
かまいません。
E. スロットル・トリムはミドルポジションにセットします。
F. 前進と後進で使用する場合の送信機側の電子トリガーの
割合（ATV値）は、前進70%に対して後進は、前進70%に
セットします。
しかし、後進を使用しない場合は、50：50でセットします。

STEP.6 初期設定

1). 送信機のスイッチをオンにします。
2~3). アンプ側スイッチの横にあるボタンを押し続けたままで
アンプのスイッチをオンにします。
4~5). レッドLEDの点灯を確認後、素早くボタンを離します。
6). 送信機のスロットルをセットしたポジションにLEDの
点灯を確認します。
7). 送信機のスロットルをブレーキエンド・ポイントに移動し
グリーンLEDの点滅を確認します。
8). 送信機のスロットルをニュートラル・ポイントに移動し
レッドLEDの点灯を確認して完了です。
※ 1から8の作業を連続的に行ってください。途中で一定以上の
時間が空くとスタンスセーフとなる場合もあります。

受信器用バッテリー

ハボックプロには受信機用バッテリーに使用する場合はスセル（6.0V）の物をお使いください。
その場合、アンプのスイッチはオフにし、レシーバーバッテリ側のスイッチで制御します。
注意：ステップ2の設定（ベーシックセットアップ以降は）ハボックプロで行えます。
この時点では、ファクトリーセットでハボックプロを制御している状態です。カスタムセットアップは、新たにセットアップする必要があります。お好みに合わせた放出特性を選択することができます。それぞれの変更したいファンクションの値をご確認ください。

★★アドバンスド・カスタムプログラミング

ハバック・ハボックプロシステムは、9のファンクションがあり、使用用途に適した お好みの特性を自由自在に設定することが可能です。

それぞれの値の変更方法

（※作成は、各自で行ってください。）
1. もしお送信機をOFFの場合は、アンプの線を受信機から抜いて作業を行ってください。これは、ノーコン防止のためです。
2. 十分に充電をしたバッテリーをアンプに接続してください。
3. アンプのON, OFFスイッチを ON にします。
4. アンプのON, OFFスイッチの横にあるボタンを押し続けて、設定したいファンクションのLED点灯のしたら手を離します。
5. LEDの点滅する回数で、現在どの値が設定させているかがわかります。設定を変更したい場合は、確認後素早く再度ボタンを押すことで設定をスロットルさせることができます。
6. LEDの点滅回数を確認し、その値で決定したい場合は1秒以上ボタンを押し続けてください。

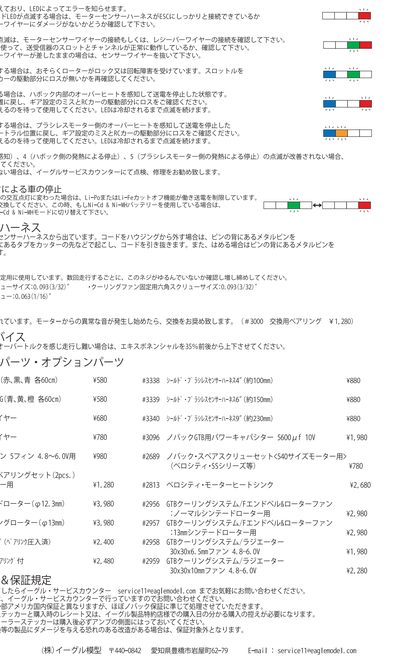
☆HAVOC PRO・カスタムプログラム・フローチャート

電源ON時のLED点灯の意味

レッドもオレンジの3 回点滅 リポ・カットオフがONの状態である事を意味します。
Ni-Cd&Ni-MH モードの場合はこのLED 3 回点滅

ニュートラル時のLED点灯の意味

レッドもしくはグリーンの点灯 スロットルがニュートラル状態から前進側にあることを意味します。
レッドもしくはグリーンの点灯 スロットルがニュートラル状態から後進側にあることを意味します。
レッドもしくはオレンジの点灯 スロットルがニュートラル状態から前進側にあることを意味します。
リポ・カットオフがONの状態である事を示します。
Ni-Cd&Ni-MH モードの場合はこのLED点滅



カスタムプログラミングで変更したデータを出荷状態に戻すにはstep6の初期設定を再度行ってください。

ブレーキ調整

ハボックプロには電子式のブレーキ力のミニマム・ブレーキ（最小ブレーキ値）とドラッグ・ブレーキ（ニュートラル・ブレーキ値）があります。それぞれ3つの値の異なったレベルのブレーキが選択出来ます。またブレーキ周波数（強さ調整）は7段階設定が可能です。

表3

表4
スロットルカーブ表

☆エラーコード

ハボックプロは、保護回路を備えており、LEDによってエラーを知らせます。
1．スロットルがONの状態で、レッドLEDが点滅する場合は、モーターセンサーハーネスがESCにしっかりと接続できているか確認してください。又、センサーワイヤーにダメージがないかどうかの確認もしてください。
2. レッドLED点灯・グリーンLED点滅は、モーターセンサーワイヤーの接続がもれている状態を確認してください。
又、正常に動作する為モーターを変えて、送信機のスロットルポジションが正常に動いているか、確認してください。
※ブラシモード中で、センサーワイヤーが一度抜けた場合、センサーを強いてください。
3．ブルーとグリーンLED点灯点滅する場合は、おそらくローターがロック又は回転障害を受けています。スロットルを
ニュートラル位置に戻し、再カーブの電動動かしてください。
4．ブルーとレッドLED点灯点滅する場合は、ハボック内部のオーバーヒートを感知して送電を停止した状態です。
スロットルを戻し、ニュートラル位置に戻した場合、一定の安定ニスと共にの駆動部分が冷えて送電を開始します。
0~7%の範囲で変更することができます。
5．ブルーとオレンジLED点灯点滅する場合は、プラシレスモーター側のオーバーヒートを感知して送電を停止した状態です。
スロットルを戻し、ニュートラル位置に戻した場合、一定の安定ニスと共にの駆動部分が冷えて送電を開始します。
0~7%の範囲で変更することができます。
6．デッドバンド（５段階） ブルー & グリーン LED
スタンスのとの初期値から変更したい場合は、イージーカレンスカウンターにて点検、修理をお勧めします。
リポ&リフェカットオフによる事の使止
走行状態でレッドとグリーンLEDの点滅した場合は、Li-Poまたは Li-Feカットオフ機能が働き送電を制限しています。
バッテリーを十分充電した物と交換してください。
P.30リポカットオフの設定をNi-Cd & Ni-MHモードに切り替えてください。

☆26ゲージセンサーハーネス

テフロン製ワイヤーがモーターセンサーハーネスから出ています。コネクタハウジングから引き出せば、ピンの増しあるメタルピンを
内側に向けて、ハウジングの上からタブをカッターの先などで起こし、コードを引き抜きます。また、逆にはめ込むピンにおいても同じ
ピンを使用してください。

☆モーターの手入れ

2つのヘッドネジをマイナスドライバーで固定用に使用しています。数回走行するごとに、このネジがゆるんでいないかを確認し増し締めしてください。
・ピニオンギヤ側のアルミ製ヘッドカバーサイズ：0.09(3/32)"　・クーリングファン固定用六角スクリューサイズ：0.09(3/32)"
・センサーワイヤー側の六角スクリュー：0.063(1/16)"

☆ベアリング

軸受けはベアリングが使用されています。モーターからの異常な音が発生し始めたら、交換をお勧め致します。（＃3000　交換用ベアリング　¥1,280）

☆テクニカル・アドバイス

走行中にパックの中の圧縮感でオーバートルクを感じ走行し難い場合は、エネスポネシャルを35%前後から上下させてください。

☆その他、スペアーパーツ・オプションパーツ

#968	シリコン銀コード 14G（赤、黒、青 各60cm）	¥580	#3338	ラージ・ネオジムシンチャーハロメ（約10個）	¥880
#3221	シリコン銀コード 14G（青、黄、橙 各60cm）	¥580	#3339	ラージ・ネオジムシンチャーハロメ（約20個）	¥880
#1562	114mm レシーバーパワーサー	¥680	#3340	ラージ・ネオジムシンチャーハロメ（約32個）	¥880
#1563	228mm レシーバーパワーサー	¥780	#3096	ノバック GTB用パワーキャパシター 5600μｆ 10V	¥1,980
#2973	超高速クーリングファン 5ファン 4.8～6.0V用	¥980	#2689	ノバック・スペクトラムセット<540サイズモーター用>（ペロセンティ<5Sシリーズ等）	¥780
#3000	GTBレシーシングホーンペアリングセット（2pcs.） ノバックペロセンティー用	¥1,280	#2813	ペロセンティ・モーターヒートシンク	¥2,680
#3346	ペロセンティ・シンデーローター（φ12.3mm）	¥3,980	#2956	GTBクーリングシステム/エンドベル&ローターファン	¥2,980
#2899	シンデード・チューニングローター（φ13mm）	¥3,980	#2957	：シールドベアリングローター用 GTBクーリングシステム/エンドベル&ローターファン ：13mmシンデーローター用	¥2,980
#3398	ハイスピードベアリング キャップ（ベアリング圧入済）	¥2,400	#2958	GTBクーリングシステム/ラジエーター 30x30x5.5mmファン 4.8～6.0V	¥1,980
#3368	ハイスピードヒートシンク ベアリング付	¥2,480	#2959	GTBクーリングシステム/ラジエーター 30x30x10mmファン 4.8～6.0V	¥2,280

☆アフターサービス＆保証規定

☆その他、ご質問等がございましたらイーグル・サービスカウンター service1@eaglemodel.com までお気軽にお問い合わせください。
☆修理サービスにつきましては、イーグル・サービスカウンターで行っていますのでお問い合わせください。
☆製品保証につきまして、一部アメリカ国内保証と異なります。1年以内の保証に準じて対応させていただきます。
保証修理の場合はディーラーステッカーと購入時のレシート又は、イーグル製品特約店様での購入日の分かる購入の控えが必要になります。
大切な保証書ですので、ディーラーステッカーは購入後すぐにはがしてください。
☆社外品との使用やコード交換等の製品にダメージを与える恐れのある改造がある場合は、保証対象外となります。

※ディーラーステッカー

（株）イーグル模型　〒440-0842　愛知県豊橋市岩屋町62-79
e-mail：service1@eaglemodel.com

ノバック・ブラシレスモーターの上手なギヤ比セットアップ方法

※近年急速に進化したブラシレスモーターは、高回転・高トルク・低燃費と３拍子揃ったＮＥＷパワーモデルです。
高出力なブラシレスモーターを上手に使う為には以下の注意事項に気をつけて、セットアップを行ってください。
使用用途に合った適正モーターを選択の上、以下の設定にお進みください。

◇アンプの負荷やギヤ比への理解

モーターやアンプに掛かる負荷は使用用途、使用方法、コースレイアウト等、様々な条件に左右され大きく変わります。
それらの条件に合わせて、ご使用頂く際、適切なギヤ比を探り出し調整する必要があります。

◎条件の違うアンプやモーターに掛かる負荷が変化します。

1. 巻のセッティングの違い(1/10グリップ走行、1/10ドリフト走行、1/10オフロード等…)
2. 走行時のアンプやモーターに掛かるストレス（ドリフト走行＜グリップ走行＜ツーリング走行＜オフロード走行）
3. コースレイアウトやリップ量（同じ距離のコースでもテクニカルなコース／ストレートの多いコース）

上記のような様々な条件によって調整するギヤ比は変わります。

※ドリフトカーにブラシレスモーターを使用する際の注意

特にドリフトカーへの使用は、以下の条件の違いでアンプにかかる負荷は大きく変わります。
アンプに過負荷がかからなように慎重にセットアップを行う必要があります。
1. タイヤの種類によるグリップの違い（樹脂タイヤ／ラバータイヤ）
2. コースの種類によるグリップの違い（ベニヤ／アスファルト／コンクリート）
3. コースレイアウトの違いによるアクセレーション

※3.5Rブラシレスモーターを使用する際の注意

3.5Rブラシレスモーターはブラシモーター換算で6～7Tで、1/10RCカー用ブラシレスモーターの中では最高峰のお力を誇ります。
最も適した用途として、ドラッグレース等の最高速コンペやオーバルでのドローム等への使用です。
1/10ツーリングカーで使用する場合等は、最もふさわしいピニオンギヤを使用しても、通正ギヤ比に近づける事が出来ない場合も想定できます。
セットアップには細心の注意と知識と接続テクニックが必要となります。

◇セットアップ方法

ギヤ比を設定して、モーター、ESC温度が上がりだした、上記の様な条件の違いによって起こるアンプへの過負荷が致命的なダメージに繋がる事があるため、ノバック社とイーグル共に細かなモーギヤ比等はお知らせしていないのが現状です。

そこで・・以下のような方法でのセットアップをお勧めします。

1. ご使用のブラシレスモーターがブラシモーターに換算すると何ターンに相当するかを認識して下さい。
※ノバックブラシレスモーター各種はブラシモーターのターン数に換算するとおおよそ以下の数になります。
3.5R：5ターン、4.5R：6ターン、5.5R：8ターン、6.5R～11ターン、7.5R：9ターン、8.5R：11ターン、8.5R～15ターン、
10.5R：19～20T 、13.5R：26～27T 、17.5R：34～35T 、21.5R：42～43T
2. 使用する私にが推奨するギヤ比（ブラシモーター用）を ご確認ください。
（サーキット等で使用される場合は、低めのサーキット推定のギヤ比をお勧めするものも良いでしょう。）
3. 推奨ギヤ比を基本にピニオンを２枚ずらし物に変更する。（これが基本のセットアップとなります。）
4. 設定したギヤ比が無理のないものかどうか確認する為に、前述のTB程度のスピードで走行させます。
数分おきにアンプとモーターの発熱具合を確認します。（異常に発熱していないか確認してください。）
※特に、ドリフト走行やグリップ走行でタイヤやコースがグリップが強い、瞬間的に最高回転／最大アンプ出力を使用する事が多い場合、初めての走行時は特に、アンプに過負荷がかからないように慎重にセットアップをチェックする必要があります。＞
5. ギヤ比の微調整をします。
1. 中低速のトルクが不足したら…基本のセットアップからピニオンギヤの歯数を更に１～２枚下げて下さい。
2. 高速域でのスピードが伸びに不足を感じたら……基本のセットアップからピニオンギヤの歯数を更に１枚上げて下さい。
3. アンプが過度に発熱する場合…ピニオンギヤの歯数を１～２枚下げて発熱を抑える調整をしてください。

上記の方法で微調整を何度か行いギヤ比セットアップを完成させて下さい。（常にアンプが異常に発熱していないかを確認しながら調整を行って下さい。）
走行後にアンプのLEDが点滅し、エラーメッセージや異常感知装置が異常を知らせた場合は、その時点でエラー内容を確認して原因を取り除いてください。
エラーの原因を取り除かない状態で、アンプをご使用しますと走行を繰り返すと、
エラー原因を取り除かない状態で、アンプをご使用しますと走行を繰り返すと、モーターとアンプは致命的なダメージを受けます。）

アンプには F.E.走行に必要なスペックを十分に満たす電子チップが
使用されています。上手くセットアップされた状態で使用すれば、
2 年以上使用していても故障はまれかも、間違ったセットアップをすると 1 回目の走行でアンプを壊してしまうこともあります。
上記注意事項を守って、上手にブラシレスモーターを使用してください。

（株）イーグル模型
〒440-0842　愛知県豊橋市岩屋町62-79
e-mail：service1@eaglemodel.com

SLYDR